

「会報」送付の皆様方へ

「会報第4号」の送付

平成16年3月吉日  
今井研卒研究生の会  
会報 編集担当  
坪井 孝光

会報第4号をお届けいたします。

巻頭には今井哲二先生に「会報第4号の発行に当たって」と題しご就筆頂きました。

巻頭に引き続き、今井研卒研究生の会に新たに幹事として就任いただいたのを機会に「斎藤哲也氏 新幹事の横顔」を、また帯谷達郎氏の自分史「私とレーダ」を載せ、更に真空管陰極関係のシリーズ第三回目として「私の原点にあるもの その1」(坪井孝光)と橋本潔氏からの投稿文「今井研卒業40年」を掲載いたしました。

会員の皆様方の絶大なるご支援により、今回の会報も前回同様10頁となりました。今後とも引き続きご協力をお願い申し上げます。

次回「会報第5号」は本年9月の発行を予定しております。皆様方からの投稿をお待しております。

[ 本会報も号を重ね、充実した内容で「第4号」をお送りできることは何とも嬉しいことである。

パソコンの普及で簡易製本が容易になった。「第5号」が発行されれば、「名簿冊子」も含め数十頁のポリウムになる。ハードカバーにした手作り簡易製本には、数十頁のポリウムが手ごろである。

「第5号」が発行された段階で、それ迄の会報を合本しハードカバーの簡易製本が出来たら、と密かに期待している。見栄えが格段に良くなり永久保存への期待が膨らむ。会員の皆さん一人一人の生きた証の一端になれば、と願うからでもある。今井 哲二 ]